

# 創星会

題字：星 猛 元静岡県立大学学長

## 発行者 創星会

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

(静岡県立大学内)

(食品栄養科学部 生化学研究室)

TEL : 054-264-5531

HP : <http://www.us-souseikai.com/>

E-mail : souseikai@u-shizuoka-ken.ac.jp

### ★創星会とは★

静岡県立大学食品栄養科学部および大学院食品栄養科学専攻・環境科学専攻(旧:大学院食品栄養科学専攻)の卒業生・修了生と教員からなる会です。創立は平成7年11月4日で、現在会員数は約2,300名となりました。本会は、会員相互の連絡協調および会員と母校との連絡をとりまとめ、会員や母校の発展のために活動しております。「創星会」という名称は、本学部の独創性を反映させ、また、卒業生の中からスターとなるような人物を生み出したいという思いから、諸先生方が命名してくださいました。

## ご挨拶

### 創星会会长 三好 規之



本年度より会長を務めることになりました栄養生命科学科生化学研究室の三好規之です。副会長は食品化学研究室の伊藤圭祐先生と環境生理学研究室の唐木晋一郎先生にお引き受けいただき、その他本学卒業生の学内教員・職員で協力して創星会員のための活動に尽力していく所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

前任の林久由先生から創星会会长のバトンを受けたタイミングは、世界中が新型コロナウイルスの対策に追われた真只中でありました。その影響は本学も例外ではなく、4月以降の講義は全てオンライン(遠隔)対応、各研究室の研究活動も大幅に制限されるなど感染症予防に対する様々な対応を強いられました。一刻も早く状況が終息することを祈るばかりです。創星会は、「新型コロナウイルス感染症の影響による奨学金の返還に関するご案内」など可能な限りの情報の発信にも努めますので、創星会HPなどご確認ください。

このような状況下において今年は卒業式と入学式が中止となりました。しかし、3月には120名の卒業・修了生が社会に羽ばたき、4月に入学した119名の新入生(学部+大学院)が我々の仲間として新たに創星会に加わっております。これまで多くの先生・先輩に支えられてきた創星会の伝統を引き継ぎ、将来へ発展させるべく創星会役員一同精励致します。より一層のお力添えを頂きますようよろしくお願い申し上げます。

### 第14回創星会(ホームカミングデー)延期のご連絡

今年度予定しておりました第14回創星会(ホームカミングデー)は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染の状況を鑑み、次年度以降に延期致します。創星会からのお知らせは、HP(<http://www.us-souseikai.com/>)またはメーリングリストにて配信致しますのでご確認下さい。

#### 【メーリングリスト登録について】

創星会では会報誌の他に、メーリングリストにて創星会通信をお届けしております。

内容は就職情報、学内情報、講演会情報等です。有用な情報を発信しておりますので、是非ご登録下さい。

メーリングリストのご登録は、創星会HPのトップページの「連絡先の登録・変更」欄から登録できます。

(携帯メールアドレス、PCメールアドレス、いずれでも登録可)

#### 【住所等変更登録について】

創星会会報を送付した際に、返送される場合が多数ございます。住所や名字等の変更がございましたら、メーリングリストのご登録同様、創星会HPの「連絡先の登録・変更」欄から変更登録をお願いします。

なお、ご登録の際、確認メールが折り返し送信されます。メールが届かない場合がございますのでメール拒否設定の解除(souseikai@u-shizuoka-ken.ac.jp)を行ってからご登録の変更をお願いします。

# 退職された教員の近況報告

## 坂田 昌弘(元水質・土壤環境研究室)

現在、新型コロナウィルスによる感染症が人々の健康や経済に深刻な被害を及ぼしています。創星会の皆様も、感染防止のために不自由な生活を余儀なくされ、一日も早い収束を願っていることだと思います。

さて、私は昨年3月末に本学を定年退職し、晴れて自由の身になりました。在籍した14年間は、教職員や学生の皆さんに恵まれ、おかげで充実した日々を過ごすことができました。現在は自宅がある神奈川県相模原市で暮らしています。心機一転して新しいことに挑戦することもなく、これまでの延長のような仕事を細々と続けています。昨年度は、非常勤講師として、本学（昨年9月）や他大学等で講義を行いました。また、国立環境研究所の外部評価委員や静岡県、浜松市の委員会委員に加え、最近では大学基準協会の評価委員として働いています。さらに、大学院生や卒論生の実験データを基に論文を執筆する傍ら、国内外の雑誌の論文査読を行っています。その他、日本環境化学会の運営にも携わっています。

定年後の1年間を振り返ってみて、やはり一番の思い出は、昨年9月に私の指導で博士の学位（2014年9月）を取得したGiang君が講師を務める、ベトナム・ハノイの大学（Vietnam National University of Agriculture）を訪問したことでしょうか。経済発展が著しいベトナムで、大学教員として頑張る彼の姿を頼もしく感じました。教師冥利に尽きますね。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



大学内で谷 晃先生、Giang君と共に

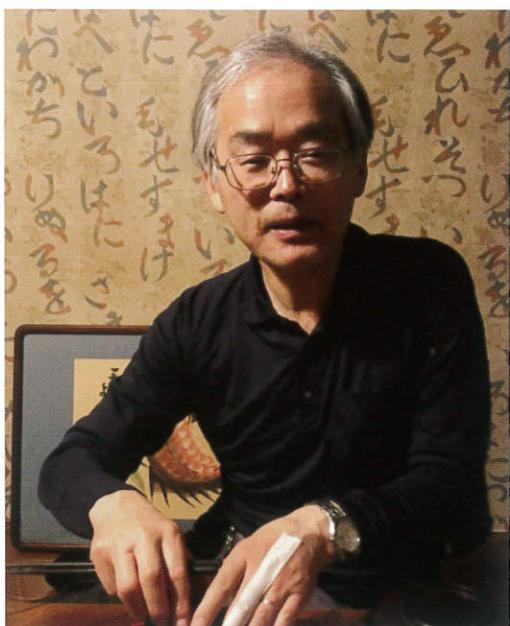
## 下位 香代子(元生体機能学研究室)

昨年の3月に食品栄養科学部を退職しましたが、早1年余りが過ぎようとしています。4月からは、食品衛生学研究室で客員教授として時々実験をさせていただいております。食品衛生学研究室は以前に助手として務めさせていただいた研究室で、当時大学院生だった増田教授、4年生だった大石秘書をはじめ、島村助教や在学生の皆さんに囲まれて昔に戻ったようです（気持ちはおそらく若返っていると思います）。昨年は、11月末に、9th International Conference on Polyphenols and Health (ICPH: ポリフェノールと健康国際会議) が神戸国際会議場とポートピアホテルを会場に開催されました。大会長として神戸大学の芦田均教授とともに務めさせていただきました（写真：パンケットにて）。準備に追われた1年でしたが、その合間にぬって、

以前から取り組んでいた社会的ストレスの加齢における影響について実験を進めました。今年はCOVID-19の感染拡大防止のため自粛生活が続き、皆様もいつもとは違う生活を過ごされていることと思いますが、家に籠りがちになってみて人間はやはり社会的な生き物だとつくづく思いました。社会的なコミュニケーションがないと小さなマウスでさえストレスが負荷されます（ご注意ください）。ストレスの実験を少しずつではありますましたが、総説や論文の作成などもあり、また、内閣府や県の委員を務めさせていただきながら社会的なコミュニケーションをとめて日々過ごしていきたいと思っている今日この頃です。末筆ながら皆様のご健康と今後のご発展を祈念しております。



## 一ノ瀬 祥一（元食品物理学研究室）



一ノ瀬 祥一  
静岡市駿河区中吉田  
すんぷ数理塾AINシュタイン

平成30年度末、食品物理学研究室を定年退職いたしました。昭和62年4月新設した静岡県立大学の国際関係学部一般教育部門に物理学の教官として入り、教養部改革で平成7年4月に食品栄養科学部に移りました。数理物理学を専門にしております。食品・栄養・環境の学生に物理学を丁寧に(?)教えて参りました。現在も他大学で非常勤講師として教えておりますが、若い人の未知への探求の輝きは素晴らしいものがあります。数理物理学の塾を立ち上げております。令和1年度は数名の塾生で何とかやり切りましたが、今年度は新型コロナのため、うまくいっておりません。オンライン授業のため、いろいろ投資（広告、スクリーン、プロジェクター等）をしておりますが、現在（令2・6月）経営は不透明です。一日の生活リズムは現役時代とあまり変わりません。開業届、確定申告などの書類書きが増えたぐらいです。（専門の）研究会参加はオンラインで楽しんでおります。大学オンライン講義が今は一番大変です。You Tubeを利用してしております。「深層（機械）学習」という（大量）情報データを操作する新しいアプローチが急速に進展しております。一般性のある魅力的な技術で、物理学会でもその研究が進んでおります。食品分析でもこのアプローチが応用されるでしょう。末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご発展を祈念しております。

## 卒業生便り

### 【第20期卒業生】 河合（旧姓：瀧）瑞季さん（食品学科卒） pan ya M's 経営



私は、中学生の時に食べたパン屋さんの明太フランスに感動し、パン屋になりたいと思いました。高校卒業後すぐにパン屋で働くことも考えましたが、もう少し勉強して知識を増やし視野を広げようと静岡県立大学の食品栄養科学部・食品学科に進学しました。卒業研究では、河原崎泰昌先生のもとでススキからバイオエタノールを生産する研究に携わり、食糧問題への理解や、酵母や酵素などを扱うことで後のパン作りを理解する力を養いました。

卒業後、静岡中部地区のパン屋に就職し、9年ほど働きながらパンづくりの基礎から店舗運営まで学び、2020年1月、地元清水にpan ya M's（パン屋エムズ）をオープンしました。

パンは主食としての役割を担うので、毎日食べてもらえるような安心・安全なパンづくりを心掛けています。オープンして日が浅いですが、忙しくも毎日充実しております。これもひとえに、大学時代にお世話になった恩師や同期の支えがあってのことだと感じています。パンを通じて地域の方々の食と健康に関わることに、誇りと責任をもって仕事をしていきたいと考えています。



pan ya M's

〒424-0017  
静岡県静岡市清水区天王東3-13  
☎054-689-7137  
open 9:00～17:00  
(完売次第閉店)  
定休日 火曜、第2・4水曜  
駐車場 店舗前3台  
HP <http://www.pan-ya-ms.com>



Instagramで  
最新情報更新中！

## 同門会便り

2019年11月23日に食品衛生学研究室同門会（第29回）を開催しました。今回は、前主任教官であり、前学長、また現静岡県教育長である木苗直秀先生が喜寿を迎えたことから、同門会にて喜寿の祝賀会を催しました。今回の祝賀会には、教員、修了生、卒業生、在校生等を含め、50名以上が参加し、久しぶりの再会を喜ぶ姿や、旧交を温める姿が見受けられました。



喜寿を迎えた木苗先生には、お祝いの品として、木苗先生のお人柄を詠ったオリジナルの「名前ポエム」をプレゼントしました（『き』ぼうと夢と向上心を胸に；『な』によりエネルギーに；『え』がおでいつも全力投球；『な』しとげられた偉業の数々；『お』おくの事を教えてくださいた；『ひ』たむきで大きなその背中；『で』あえたことは人生の宝）。木苗先生は、久しぶりに集まった修了生や卒業生だけでなく、在校生との会話も楽しんでおられました。

子育て、仕事等の所用により、同門会への参加が難しい修了生・卒業生もいらっしゃいます。したがって、毎年、同門会を開催することで、会に参加して、旧交を温める機会を増やしています。大学の研究室は、実社会に出る前に教育を受け、また生涯の友人や先輩、後輩が得られる場所です。今後も、研究室での良好な関係を構築しつつ、教員、卒業生、修了生、在校生間における繋がりを大事にし、研究室員が集う同門会を続けていきたいと考えております。

（食品衛生学研究室 増田修一）



## 創星会交流支援事業報告

創星会交流支援事業がスタートして2年目の令和元年度は、2つのグループが同窓会を行いましたのでご紹介いたします。

### 「2019年食品栄養科学部卒業生同窓会」



2019年11月19日に静岡市内のTAVESGUITAで、2019年食品栄養科学部卒業生同窓会を開催し、23名が参加しました。開催にあたりましては、創星会より支援金をいただき、このような貴重な機会を設けることができましたことを心より御礼申し上げます。

私たちは、学部卒業から半年が経過し、同大学大学院に進学した者、他大学院に進学した者、各地で就職している者など、それぞれの環境で、大学での教訓を活かし、羽ばたいています。卒業してからわずか半年、同窓会を開くには些か早い気もしましたが、遠方から都合をつけて参加してくれた方も多く、久しぶりに皆の元気そうな顔を見て、心から開催してよかったです。どの場面を振り返っても懐かしく、あまりに多かったテストやレポートの愚痴、楽しかった研修旅行など、共通の話題で大いに盛り上りました。そして半数は社会人であるために、その仕事の大変さ、やりがいを語ってくれました。大学院生の私にとっては、少し前まで同じステージにいた友人のその一皮むけた姿に感銘を受けると同時に、自分も負けていられないという闘争心をかき立てられました。そしてなんといってもこの日のビッグサプライズは平松さんの結婚＆妊娠発表です。友人の突然の発表に同窓生は絶句。その刹那、この日一番の会場のボルテージを記録しました。

こうして卒業した後でも、学生時代と何ら変わりのない、実りある会を開くことができました。今後も、定期的に集まる機会を設け、大学時代の思い出を永遠（とわ）に語り合いたいと思います。  
(追伸) 元気な赤ちゃんが先日(2020年4月)生まれたそうです。

（食品生命科学科29期生 花崎礼威）



## 「シダ(志太) ックス卒業生の会」

2020年2月15日に静岡市内で「シダ(志太) ックス卒業生の会」をホテルセンチュリー静岡にて開催し、卒業生・修了生34名の参加を賜りました。本会の開催にあたり、創星会より助成金を頂き、このような貴重な会を設けることができましたことを心より御礼申し上げます。

シダックスとは、食品衛生学研究室の増田修一先生(藤枝市出身)が主催し、①志太榛原地区(焼津市、藤枝市、島田市、牧之原市、榛原郡)に実家がある、②同地区にある高校の出身者である、③同地区に就職した等、志太榛原地区に関わりを持つ食品栄養科学部の学生で構成される集いであり、結成から既に10年以上経っており、在学時から定期的に開催されてきました。

これまででは、在校生を中心に集まることが多く、卒業生を中心に広く声をかけたのは、今回が始めての試みであり、当初は小規模な開催になるかと思われましたが、当団には、遠方各地から、卒業生の皆様が都合をつけて、参加頂き、本会を企画した意義の大きさを感じました。



卒業後、結婚して名字が変わっていたり、いつのまにか転職をしていたり、近況は様々でしたが、顔を合わせれば10年のブランクなどなかったかのように、時間はいくらあっても足りそうもないほど、大いに盛り上がり、思い出話・私生活・仕事の話など、話題が尽きることはませんでした。美味しいお酒を飲み、美味しい食事をとりながら、気の抜けない仲間と過ごす時間はシンプルに楽しいものでした。

食品栄養科学部は、少人数である故、学科・学年を超えての繋がりが強いことは、在学中からも感じていた点ではありました。卒業してからもその絆は全く変わることなく、特に関連する業界を知る者同士、志を共有してきた友人たちとこうして顔を合わせて近況を語る機会は非常に貴重な時間となりました。今後も、定期的に集まる機会を設け、この縁を大切に繋げていきます。

(栄養生命科学科21期生、修士21期生 内田(旧姓:袴田)京)

(参加者の出身研究室:食品衛生学、食品分子工学、食品化学、生物分子工学、有機化学、ケミカルバイオロジー、微生物学、栄養化学、生化学、臨床栄養学、臨床栄養管理学、フードマネジメント、生体機能学(環境) 計13研究室)



## 創星会会員交流支援をご活用下さい

### 卒業生・修了生同士の集まりを支援します!

創星会では、卒業生相互の交流を促進・活発化することを目的として、会員同士による集まりを支援致します。

昨年度は、会報誌掲載の2グループが活用されました。年間10団体まで支援いたしますので奮ってご応募下さい。

詳細に関しましては、[創星会HP http://www.us-souseikai.com/](http://www.us-souseikai.com/) の【創星会会員交流支援事業参加規程】をご覧ください。

●支援内容：卒業生の参加者14名までは一人につき3千円を補助し、15名以上の参加者については一人につき5千円を補助致します。

●支援条件：①卒業生が10名以上参加すること(研究室の同門会は支援しない)。  
②主催者(幹事)が規程内容を理解し、全責任を負う。

実施後は、同窓会会報誌への報告記事掲載と次回総会での実施報告に協力する。

③交流会の開催2ヶ月前までに申請する(年間10団体まで、先着順)。

上記①～③の条件の他、詳細は支援事業参加規程をご確認下さい。

## トピックス

### 管理栄養士国家試験4年連続合格率100%を達成！

2020年3月1日に実施された第34回管理栄養士国家試験に、食品栄養科学部栄養生命科学科の卒業生26名全員が合格しました。何としても4年連続合格率100%を達成しなくてはならない厳しい状況の下、学生の皆さんには大きなプレッシャーや不安を感じながら試験に挑みました。

4年生になった当初は受験勉強の方法もよく分からず、また受験に対する意欲もわかないまま模擬試験に臨み、惨憺たる成績の人もいました。しかし、その後は県大生の底力を存分に発揮して成績を伸ばし、皆が本番に間に合わせてくれました。

管理栄養士国家試験の時期が以前よりも早まり、卒業研究との兼ね合いがなかなか難しい中、学生の皆さんはどうちらにも力を注ぎ、良く奮闘してくれました。対策委員を担当した教員としても、責任が果たせて嬉しい限りです。

これからは県大で学んだ知識と経験を活かし、日本のみならず世界でも大いに活躍してくれることを切に期待します。

(国家試験対策委員 調理科学研究室 新井映子・伊藤聖子)



### 第2回 静岡県立大学食品栄養科学部サイエンスネットワーク講演会および交流会

令和元年11月16日（土）に、第2回静岡県立大学食品栄養科学部サイエンスネットワーク講演会・交流会を、静岡県立大学草薙キャンパスにて開催いたしました。本会は、食品栄養科学部の学生・卒業・修了生・現旧教員を中心に“食と健康に関する研究活動”を共通言語とするサイエンスネットワークを強化し、これからの食品栄養科学分野の更なる発展を図ることを目的とし、静岡県立大学創立30周年行事（2016年）を機に発足しました。第2回目の本会も卒業生の有志によって構成される支援会が企画・運営をし、創星会の後援を受けて開催しました。57名の食品栄養科学部・大学院の卒業生、修了生、在学生、現旧教員がご参加下さいました。

講演会では、食と健康に関する分野で活躍する3名の卒業生；堀江健二氏（栄養学科1期生）、田口（柳沢）千恵氏（栄養学科14期生）、寺田祐子氏（食品学科20期生）にご講演頂きました。その後、参加型イベントとして、参加者の今のシーズとニーズを語り合う「ポスター交流会」を開催しました。最後の懇親会では、懐かしい再会から、新しい先輩後輩関係の築きなど、非常に有意義な時間となりました。本会終了後のアンケートでは、会全体として非常に良い評価を頂きました。講演会とポスター交流会のバランス、情報交換の場としての参加型イベント（ポスター交流会）、卒業生が主役となる会であったこと、などの良い点

が挙げられました。一方、現役学生の参加が少ないこと、参加者の業種に偏りがあること（管理栄養士が少ない）が今後の課題です。

静岡県立大学食品栄養科学部は、食品・栄養・環境を総合的に科学する唯一無二のオリジナリティある学部です。ここで学んだ仲間を繋ぎ、発展させる会を今後も目指します。これからもどうぞよろしくお願い致します。

ご意見等は本会

E-mail (foodkendai30@gmail.com) まで  
ご連絡下さい。

岩崎有作（食品学科13期生）  
食品栄養科学部サイエンスネットワーク事務局代表  
京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授



## 新任教員の紹介(令和2年4月着任)

### 内田 邦敏(准教授:生体機能学研究室)



本年4月1日付で生体機能学研究室の准教授に着任しました内田邦敏と申します。私は、総合研究大学院大学(生理学研究所)にて学位取得後、生理学研究所助教、福岡歯科大学講師を経て本大学へ参りました。静岡県と接する愛知県豊橋市で生まれ育ちましたので、福岡から地元に帰ってきた気持ちです。

私は、生体環境センサー分子を分子から個体レベルで解析することで、生物が環境変化を感じてその生体機能を維持する仕組みを解明することを目指して研究してきました。この生体環境センサー分子であるTRPチャネルは唐辛子の辛み成分などの食品成分のセンサーでもあることから、これから食品栄養科学部の一員であることを生かし、環境・食品・栄養と生理機能との関連を探求していくことを考えております。これら研究のみならず社会で活躍できる人材の育成を通じて大学、社会に貢献していく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 亀山 詞子(助教:栄養教育学研究室)



2020年4月1日付で栄養教育学研究室の助教に着任いたしました亀山詞子と申します。私は、日本女子大学を卒業後、病院の管理栄養士として勤務し、その後、中米コスタリカで青年海外協力隊員として栄養改善活動を行ってきました。帰国後、厚生労働省など行政機関で勤務し、日本女子大学で社会人大学院生として修士課程を修了、助教勤務を経て、博士号を取得致しました。これまで、ヒトを対象とし、生活習慣病の予防と治療のための効果的な食事療法の構築を目指し研究を行って参りました。今後は、桑野教授のご指導のもと、栄養教育のエビデンスを構築するため、更に研究に励みたいと思っております。また、これまでの実務経験を活かし、学生の教育にも尽力していきたいと思います。微力ではございますが、本学の発展に貢献できるよう精一杯努めて参ります。創星会の皆様には、ご支援・ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 異動・退職された教員

小林 裕和 教授: R2年 3月退職 → R2年4月～ 静岡県立大学非常勤講師・客員教授

R2年8月～ 大学発ベンチャー(株)グリーン・インサイト 代表取締役

橋詰 力 助教: R1年12月退職 → R2年1月～ セルシグナリングテクノロジージャパン株式会社

丹羽 康夫 助教: R2年 3月退職 → R2年4月～ 静岡県立農林環境専門大学生産環境経営学部 准教授

内藤 博敬 助教: R2年 3月退職 → R2年4月～ 静岡県立農林環境専門大学生産環境経営学部 准教授

増田 勇人 助教: R2年 3月退職 → R2年4月～ 大阪市立大学大学院工学研究科 講師

望月 智貴 助教: R2年 7月退職

### 会計中間報告

#### (令和2年8月1日現在) 会計 大石 里夏

年月日	項目	収入	支出	残高	年月日	項目	収入	支出	残高
	繰越			13,708,974		繰越			
R1. 8. 9	会報・封筒印刷費(東洋プロセス、振込手数料込)		199,152	13,509,822	R2. 1.20	小林裕和先生退職記念品代(送料・振込手数料込)		13,000	12,269,265
R1. 8. 9	アルバイト代(R1.6～7×1名)		75,000	13,434,822	R2. 1.24	卒業アルバム補助金(5000円×81名)+振込手数料		405,440	11,863,825
R1. 8.27	(はがき代、郵送料(会報誌送付)		266,264	13,168,558	R2. 2.10	創星会員交流会支援金(30名)+振込手数料		150,440	11,713,385
R1. 8.29	コピー用紙代		3,107	13,165,451	R2. 2.17	小林裕和先生退職記念花束代		5,000	11,708,385
R1. 9.20	アルバイト代(R1.8×1名)		59,000	13,106,451	R2. 2.18	創星会用卒業アルバム代		11,880	11,696,505
R1. 9.24	(はばたき寄金へ寄付		20,000	13,086,451	R2. 3. 4	アルバイト代(R1.12～R2.2×1名)		9,000	11,687,505
R1.10. 1	利子(H30.10.1)	29		13,086,480	R2. 3. 4	封筒		110	11,687,395
R1.10.21	学部生入学時同窓会費(R1年度秋入学)	29,854		13,116,334	R2. 3. 5	丹羽先生、内藤先生、増田勇人先生退職お餞別代		15,000	11,672,395
R1.10.28	第12回創星会(ホームカミングデー)開催費用		401,449	12,714,885	R2. 4. 1	利子(R2.4.1)		27	11,672,422
R1.11. 5	アルバイト代(R1.9～10×1名)		43,000	12,671,885	R2. 5. 1	アルバイト代(R2.3～R2.4×1名)		18,000	11,654,422
R1.11. 5	創星会員交流会支援金(23名)+振込手数料		115,440	12,556,445	R2. 5.20	ホームページ月管理費(R2.6～R3.5)(振込手数料込)		18,820	11,635,602
R1.11.11	第2回フードサイエンスシンポジウム補助金		262,180	12,294,265	R2. 5.28	H31年度学部生入学時同窓会費	2,429,854		14,065,456
R1.11. 5	アルバイト代(R1.11×1名)		7,000	12,287,265	R2. 7. 6	アルバイト代(R2.5～R2.6×1名)		8,000	14,057,456
R1.12.13	橋詰先生退職お餞別代		5,000	12,282,265	R2. 7.15	望月先生退職お餞別代		5,000	14,052,456

## 第13回 創星会（ホームカミングデー）を開催しました

令和元年10月26日（剣祭1日目）に第2回食品栄養科学部ホームカミングデーを開催致しました。

当日は約100名の卒業・修了生、教員、在校生が来場し、交流を深めることができました。

### 第2回 ホームカミングデー

ホームカミングデーは主に食品・製薬等の企業と管理栄養士系の職種に会場を分け、24名の招待者の卒業・修了生の方々の各ブースに在校生たちが自由にお話を聞きに行く形式で行われました。

仕事内容や就職活動に関する話題などを中心に、第一線で活躍する先輩方からの経験談やアドバイス等をいただき、貴重な時間を過ごすことができました。

招待者の卒業生・修了生の方々

食品・製薬企業の  
先輩方との交流



終始和やかな雰囲気で  
交流を深めることができました



管理栄養士の先輩方のお話を熱心に聞く学生達

### 総会・懇親会



### 創星会役員

令和2年度より新体制となりました創星会の運営に携わっている役員を紹介します。

創星会へのご意見、ご要望などございましたら、ホームページのお問い合わせメールを利用下さい。

【会長】三好 規之（M9期生） 【副会長】伊藤 圭祐（M13期生） 【副会長】唐木晋一郎（環境物質科学専攻D修了(2003)）

【幹事】林 久由（1期生） 【幹事】大槻 尚子（M11期生） 【幹事】石塚 典子（14期生）

【幹事】吉田 卓矢（M16期生） 【幹事】本間 一江（M16期生） 【幹事】大原 裕也（19期生）

【幹事】寺田 祐子（20期生） 【会計】大石 里夏（6期生） 【会計監査（兼任）】伊藤 圭祐